

【めむろ未来ミーティング日程 15】

令和4年1月19日(水)

10:00～11:03

毛根コミュニティセンター

■参加者 6人

■芽室町 町長、政策推進課長、
農林課長補佐、環境土木課長補佐

■記録 広報広聴係長

■対応・検討が必要な事項

①災害に備えた入浴施設の確保の件(総務課)

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 3回目コロナワクチン予防接種

4 意見交換

【意見】

スキー場のことで、2年くらい前からキャンプなどいろいろ取り組んでいる。支配人も変わり、焚火や自転車などを入れている。

ただ、今までのスキー場の利用者としては営業の縮小やナイターの減少など、不満が出ている状況である。そのあたりへの考え方は？

【町長】

おっしゃるような趣旨のご意見は各地域からもいただいている。

まず一つは、指定管理者として、町が会社に運営を

委託している状況であるので、今回各地域からいただいたご意見を取りまとめて、しっかり伝えていき、改善できるところはしていきたいと考えている。

スキー場について、まず、ナイターについては、ナイター利用者がかなり減っていたのは事実である。

以前は、利用者数に関わらず当たり前にやっているというイメージがあったと思うが、利用者が1日ひとヶタの数名という状況もあり、その中で電気代など経費をかけて進めることができないのか検討し、経営的にもまずいということで昨年の状況にいたん曜日を決めて縮小した。

ただ、昨年の営業体制についても様々なご意見をいただいたことから、完全に戻すということはないですが、それも改善しようと、少年団の方ともお話しさせていただいて、火、金、土はフルに開けるというように整えたところである。

これでよいとも思っていないが、今後もご意見をいただきながら改善していきたい。

またスキー場の使い勝手や会社の態度などについても、細かいところも含めていろいろな意見もいただいたおり、一つ一つ対応したいというふうに思っています。

改善の余地があると捉えているので、みなさまからもご意見があればおっしゃっていただきたい。

【意見】

メムロスキー場は、少年団、中学校のスキー部活としての使用、社会人も仕事帰りにできるというメリットがあった。

儲ける儲けないの話があったが、町民はスキー場を運動施設と捉えていて、健プラや総体と同じような感覚で利用してきた。スキー場については、それと同じで、そこは行政がやるべきだと思う。

【町長】

施設の位置づけや、指定管理者に対して指定管理委託料をお支払いして進めている状況もあるので、すべてを行政がやるという意味ではないが、少年団のために開ける日は町がある程度負担するなど、考え方としてはあると思う。検討していきたい。

また、他の会場でもいただいているご意見では、パークゴルフ場について4コースから2コースになったことでご意見はいただいている。

これも新嵐山のターゲットを家族で楽しめるところにしていきたいという動きの中で、場所的に必要になり現在の形になっている。

パークゴルフ場も先ほどのご意見の考えに則れば、町が負担して維持管理をするということも考えはあると思うが、美生川河川敷などを再開することができたことから、新嵐山のパークゴルフ場を戻すという考えではなく、今の進め方で行きたいと思っている。

いずれにしても不採算部門について行政はどうするかということについては考えていきたい。

【意見】

新嵐山荘の宿泊施設の改修は検討しているのか。それと鳳の舞の今後について聞きたい。

【町長】

まずは新嵐山について、具体的な数字も含めてお話ししたい。

活用計画を議会の皆さんに総事業費として、最大かかる費用として公表したのが14.5億円である。

しかし、うち約7億はリフトの架け替え（第1、第2の2本のリフトをすべて新しくする場合）、もう一つは宿舎を建て替えに近い形ですべて改修する場合に約4億円ほど含まれるという「最大限かかる費用」の話である。

また特に、リフトについては、改革の一環としてお示ししてはいるが、スキー場を続けていく上では、経年劣化などの対応としていつかはかかる経費だと思うので、改革があるからということがすべてではない。

宿舎についても、すべてを改修する必要があるのかということもある。

そのほかの展望台をどう生かしていくかなどの魅力づくりでも、全部で約3億ほどはどうしてもかかる想定はしているが、あくまでも財源の目途が整ったところからやるということが大前提です。

ない袖は振れないと思っており、財源の見通しが立ったとしても、効果や実施の時期などを十分協議・説明した上で進めていきたい。

またこれまで進めてきたドッグランなどの整備は指定管理者がなるべく費用をかけず、ほとんど自分で工夫しながら進めているところも多いことを知つていただきたい。

ですので、宿舎の改修は検討しているのかというご質問については、すぐに宿舎を建て替える予定はないが老朽化もあるので、財源の確保とともに検討を続けていくということを考えている。

次に、鳳の舞さんの件であるが、町の役割としては2つの考え方があると思う。ひとつは「公衆浴場の確保」という点。

民間事業としてスタートした浴場を町が「公衆浴場の確保」という観点から「公衆浴場」として認定し、経済的支援、運営への支援にも努力を重ねてきたが、今後の老朽化等への対応や経営に対する支援は町としても限界があると判断したところ。

一方で、まちなかの貴重な資源がなくなることは利用者、町民にとってもショックでもあると思う。また、健康維持や災害時の対応なども含めて大切な機能もある。

現在は公衆浴場としては「休止」というかたちであり、現経営者のご協力もいただきながら、事業存続、事業継承に向けての協議に側面的支援をしており、結論はこの先となるが、事業を続けられないか検討中である。

なお、お風呂のない家庭等には個別の相談や申し込みを受けながら新嵐山荘への送迎を行っているところ。

【意見】

お風呂のことで、災害があったときに鳳の舞や新嵐山などで対応していたが、いつ起こるかわからない災害に備え、たとえば大きなお風呂のある施設（病院や介護施設などのいろいろな施設）の設備を開放してもらうなど準備できないのか？①

【町長】

おっしゃるとおり、災害時への備えなども必要になってくると思っている。

また、そういう施設を持っているところと災害協定を結ぶなども選択肢になると思う。各施設とも連携していくことは大切だと思う。大変ありがたいご意見なので、持ち帰って検討していきたい。

ただ、心配なのはコロナ禍もあり、そういう施設に災害時だとしても外部から的人が入ることへの懸念もある。コロナ禍の災害は対応が非常に難しい。そうした点も考慮しながら考えていきたい。

【意見】

鳳の舞さんを新嵐山で購入してはどうか？

【町長】

町で購入しては？といったご意見もあるのは確かである。

【意見】

さきほどおっしゃったようにお風呂のないご家庭を送迎していると思うが、そういった経費もあるし、新嵐山は、観光できた人が入るお風呂ということがメインで、立地的にも公衆浴場としては厳しいのでは？一方で鳳の舞の位置であれば、ありだと思うが。

【町長】

なかなか町営で実施して、営業面を含めうまくいくことは難しい。また、経営的にうまくいくのであれば民間の皆さんもやめてはいらっしゃらないと思う。また、これまで最大限の支援として、補助金や下水道料金の減免など、公衆浴場確保の観点から最大限財源も投じてきているので、これからさらに設備の改修を町で負担するということになれば、税金の使い道としてもなかなかご理解をいただくことも難しいと思う。

一銭も支援していない自治体もある。政策的にもできることはさせていただいてきたが、ここでさらに設備の老朽化に対応できるかということは非常に厳しいかなと判断する。

ただ、今後、事業を継承するという方が出てきた場合には、ある程度支援を担保することも必要と考えてはいる。

【意見】

現状は理解するが、まちなかの再生のような観点で進められないか？

【町長】

発想としてはおっしゃる通りで、まちなか再生の観点では、あのような施設がなくなってしまうは非常に残念であるという発想を強くしていく方がよいと思っている。

【意見】

新嵐山に来てもらった人を中心部に連れて行こうと考えるならば、まちなかが寂しい状況では難しいのでは？

鳳の舞のような存在がないというのは、外から来てもらった人にとってどう目に映るかといった観点から、まちなか再生の中の一部に組み込むなど、見方をかえて対応していくってはどうか？

【町長】

公衆浴場確保という公的な機能もあるので、町と新たな事業者が出てきたときには、コラボでの経営なども一つの考え方としては出てくるかもしれない。

【意見】

ライジングさんの跡地はどうなる？

【町長】

ご意見をいただくところである。ご承知のとおり、町の所有ではないので、どうできるということはないが、所有者からも町で何か提案あるなら優先的に考えるといつていただいている部分もある。

まちなか再生の中でも考えていく場所の一つではあると考えている。では、今、具体的にどうするかということは考えていないことはないが、お示ししていない。

どちらかというと皆さんから意見をいただいた中から考えていきたい。

まちなか再生については、これまで12団体ほどとこれまで議論を始めましょうということやみなさんからの意見を集めながら、整理していくこうということで説明させていただいている。

その中で必ず議論になる施設であると思うし、施設も傷んでいくのでゆっくりしてはいられないが、順に進めていきたい。

まちなかの魅力づくりとして、拠点として外からも中からもここを目指してまちなかに行こうという場所がないとなかなか難しいと思っている。

中高生との意見交換では、民間のファストフードやカフェなどが欲しいという意見が必ず出てくるが、相手のあることなどで出店に至っていない現状を考えると、なかなか難しいかなと思うが、他の十勝管内でも、子ども連れで楽しめる大きな遊具があるところとか、食の楽しめる場所とかいろいろなアイデアがある。市街地の考え方は、100人いたら100通りあると思う。

ご意見にお答えするとすれば、まちなか再生の議論の中でも大事な場所であると認識している。

【意見】

まちなか再生について、子どもが芽室にも道の駅がほしいなといっていたのを思い出しました。

それと、たまたままちなかに行く用事があったのだが、スクールバスと乗用車の事故があった。あの場所は信号無視などの事故が多いので、まちなかを再生していくのであれば、そういう安全面のことも考えてほしい。

あの場所は、なにか事故が多くなる要因があるのだと思う。

【町長】

道の駅については、多くの会場でもご意見があるが、通年24時間365日トイレなどを開けておかなければならぬ。

通年の維持管理も必要になり、販売収入などで黒

字になっているところというのは実は非常に少ないかなという印象。維持するために各自治体もかなり財源を投入している状況だと分析している。

大きな道の駅となると、しっかり駐車場も備えてということになると思うが、たとえば38号線沿いでそのようなしっかりとした駐車場のスペースも作ってとするとどこまでできるかという難しい面もある。

ただ、道の駅自体は否定してはいない。道の駅といういろいろな条件もあるので、道の駅ではないけど、道の駅のような集まれる施設というものを市街地に作る発想はいいと思っている。国道沿いだとどうしても市街地と離れてしまうので、その道の駅に行ったら終わりという状況になって、結局、まちなかの経済循環につながらないといったことなども考えなければならない。

いま、町内のNPOさんからもまちなかに日本一小さい道の駅をというような話もある。

どちらにしてもまちなか再生の中では拠点になるものは必要だと思っているので、一つとして考えていきたい。

事故については、東西に一時停止があるけど見落としてというようなことが多いと思う。地元の人は東西一時停止という頭があると思うが、特に町外から来た人にはわかりにくいところもあるかもしれない。

信号や標識などへのご意見も他の会場でもたくさんいただいているが、なかなか難しい。特に新規設置はほとんど認められないことが実情。

【意見】

新嵐山の会社は副町長が社長だと思うが、今年からテナントが町内事業者ではなくなり、別の事業所が入ったのかなと思うが、その影響として入っていた町内の事業所は撤退になり、雇用もなくなつたと聞く。町としては、そのような姿勢でいいのか。

【町長】

3つの事業者とも町内の事業所でもあり、町は何も知らないということではない。

また、誤解いただきたくないのは、事業者さんを排除したというようなことではない。さまざまな話し合いを続けてきて、平行線になっていたこともある。3社とも会社だけではなく、私のところにも話にいらっしゃって、複数回お会いして、お話をさせていただいている。

ビジネス上の条件を新嵐山の会社から提案し、3社とも契約に向けて真摯に検討していただき、前向きな提案もしていただき、ほぼ契約間近というところもあった。

町長として、町内事業者の育成も含めてお会いしてお話をさせてもらっている。出店者については、ある程度、選定の権限を指定管理者に任せていることは事実であるが、今回の案件は申し上げたように私も町長として入り、お話をさせていただいている。

言い訳ではないが、3社ともたくさんお話をさせていただいた中で、最終的にビジネスとして判断してというところになる。

ただ、3社の中にも温度差はあって、契約間近まで行ったところもあれば、タイミング的に撤退という判断のところもあった。それらを一緒に町が排除したように見られていることは残念である。

ご意見はいろいろといただいているが、このような状況である。

また、これで3社と関係が切れたわけではないと思う。キッチンカーなどで出店していただくなどいろいろな可能性が今後もある。先方がどのように感じているかはわからないが、話し合いの中では3社とも最後は握手をして終わっている。

理解してほしいということではないが、そのような経過もあって、今の状況に至っているということをお伝えしたい。

11時03分